

平成 29 年度 第 2 回伊勢市スポーツ推進審議会 会議録（概要）

平成 30 年 2 月 23 日（金）午後 7 時

小俣公民館 1 階 第 1 会議室

出席委員：小木曾一之会長、北村峯記委員、中西武寿委員、奥田 守委員、  
米山公美委員、田村善保委員、平沼美智子委員、立花和子委員、  
豊島久雄委員

欠席委員：龍田 洋委員、久米邦明委員、中辻 茂委員

事務局：橘 泰平教育部長、沖塚孝久スポーツ課長、廣俊明スポーツ振興係長、  
日置純子スポーツ施設係長

1 あいさつ（伊勢市教育委員会 教育部長 橘 泰平）

2 協議事項

(1) 第 2 期伊勢市スポーツ推進計画の平成 29 年度実施計画の取組状況と  
平成 30 年度実施計画（案）について

**質疑応答**

＜市主催事業等の充実＞	
質問	伊勢市スポーツフェスティバルの対象事業とすることでのメリットはあるのか。
回答	後援承認申請の際、手続きの簡素化を行ない伊勢市教育委員会の名義を使用することができる。
＜総合型地域スポーツクラブの育成・強化＞	
質問	総合型地域スポーツクラブの会員確保は進んでいるのか。
回答	市からの活動支援負担金を活用し、それぞれのクラブでさまざまな取組により会員確保に向けて動いてもらっている。 現在、設立されている各クラブで連携を図り、クラブ交流事業などでクラブ未設置地域の人も含め、どの地域の人でも総合型地域スポーツクラブに参加できるような体制を整えていきたいと考えている。

意見	総合型地域スポーツクラブの育成、強化のためにはどのような内容のものをどこでどのようにして行なっているのかを周知、またその活動内容や指導者の育成、確保が重要である。効果的な情報発信方法を模索するにあたっては大学と連携し、アドバイスをもらうのもいいのではないか。
<指導者の育成・確保>	
質問	指導者バンクの実績はどのようなものか
回答	29年度末で24人が登録している。指導者バンク制度に関する問い合わせや相談はあるが、活用実績についてはない状況である。
<障がい者団体及び障がい者スポーツ団体との連携>	
質問	3月に県営サンアリーナで開催されるボッチャアジア大会は、誰でも見られるような形でやっていただければと思われるが、観戦するのに入場料は必要なのか。
回答	入場料等は必要なく、多くの方に観戦していただけるものであると聞いている。
意見	3/10に二見町老人福祉センターで、二見町の総合型地域スポーツクラブと二見町のスポーツ推進委員が連携し「レクスポ大会」を開催することになっているが、その中で今回、障がい者を対象として、ボッチャの体験会を実施する。市と連携した取組であり今回が初めてであるが、今後はより一層の障がい者スポーツの推進に取り組んでいただきたい。
回答	今回の体験会には聴覚障害者の方にも参加していただく予定となっており、市の高齢・障がい福祉課とも連携を図り、手話通訳者も入れて体験会を実施する予定となっている。今後、規模を広げていくためには、障がい者の受け入れ体制を充実させる必要があると考えている。

＜保健福祉部局との連携＞	
質問	健幸ポイント事業は終了したのか。
回答	1期生については2年間が経過し終了しているが、2期生は31年1月末までの期間で事業を行なっている。
＜全国大会に向けた拠点施設の整備＞	
意見	高校総体、国体開催に向けて拠点整備を進めているが、観光部署とも連携を図り学生のクラブ合宿等の誘致、PRを積極的に行ない、活発に活用できる施設としていていただきたい。

＜平成30年度実施計画（案）について＞

意見	本日の意見をもとに、平成30年度の実施計画に反映していただきたい。
----	-----------------------------------

- 3 その他  
特になし